

教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

○ 基礎教養科目群

豊かな教養を身につけるために、主に1年次から2年次にかけて基礎科目群から14単位、科学基礎科目群から8単位、総合科学科目群から6単位、合計28単位の、主に講義形式を中心とした科目を履修する（DP1）。評価は主にレポートや学期末試験を用いる。

○ 学部共通科目

「ヒューマンケア入門」、「ヒューマンケアチームアプローチ演習」科目は、主に、専門職として、関連する職種の理解、多職種および地域の人々と協働・連携する力を身につけるために、栄養学科や社会福祉学部の学生とともに演習形式の授業を4単位修得する（DP4）。評価は授業態度、自主学習態度、プレゼンテーションを用いる。

「文献講読」、「専門研究Ⅰ・Ⅱ」科目は、よりよい看護を実践し、看護学を発展させていくための論理的思考力、課題探求能力、表現能力、問題解決能力を身につけるために、少人数の演習（ゼミ）形式の授業を6単位修得する（DP3）。評価は授業態度、自主学習態度、レポート、プレゼンテーションなどを用いる。

○ 専門基礎科目

看護の専門的知識の基礎（人のからだと行動の仕組み、病態生理と治療、ひとの生活と社会）を理解するために、講義形式の授業を18単位、演習形式の授業8単位を履修する（DP1）。評価は主にレポートや学期末試験を用いる。

○ 基幹科目

看護学の基礎となる知識の理解をするために、講義形式の授業を4単位、演習形式の授業2単位を履修する。（DP1、2）。評価は主にレポートや学期末試験を用いる。

○ 展開科目

様々な看護の対象、および場での看護展開を理解し、よりよい看護を実践し、看護学を発展させていくための論理的思考力、課題探求能力、表現能力、問題解決能力を身につけるために、講義形式の授業を21単位、演習形式の授業4単位を履修する（DP2、3）。評価はレポート、学期末試験、プレゼンテーション、自主学習態度などを用いる。

○ 技術実習

豊かなコミュニケーション能力と対人援助技術を通して人間関係形成能力を身につけ、対象の健康問題を解決するための看護ケア力を修得するために、学内における演習形式の授業 8 単位を修得する (DP 4)。評価はレポート、学期末試験、技術チェック、プレゼンテーションなどを用いる。

○ 臨地実習

学内で培ったコミュニケーション能力、人間関係形成能力を用いて実際に看護実践を行うことを通じて看護ケア力を高め、倫理的態度、自己学習態度、看護実践を改革しようとする積極的な態度を身につけるために、実習病院や地域などの臨地において、実習形式の授業 23 単位を修得する (DP 4、5)。評価は、実習態度、自主学習態度、レポート、プレゼンテーションなどを用いる。

○ 関連科目

既習の看護学の知識を更に発展させ、幅広い視野に立った看護が実践できるための知識、思考判断、態度を学ぶために、2 科目以上履修する (DP 1～3)。評価は主にレポートや学期末試験を用いる。